

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
4 2 6	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
<p>Resveratrol, a red wine polyphenol, attenuates ethanol-induced oxidative stress in rat liver.</p> <p>赤ワインに含まれるポリフェノールであるレスベラトロールがラット肝臓でエタノール誘導性酸化ストレスを弱める</p>	
執筆者	
Kasdallah-Grissa A, Mornagui B, Aouani E, Hammami M, El May M, Gharbi N, Kamoun A, El-Fazaâ S.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Life Sci. 2007 Feb 20;80(11):1033-9.	
キーワード	
レスベラトロール、肝臓、酸化ストレス	
要 旨	
<p>肝臓におけるアルコール性疾患発症への酸化ストレスの関与が確かめられている。レスベラトロールはブドウ果皮や赤ワインに存在する天然のファイトアレキシンであり、抗酸化能を含む多様な生物学的活性を有している。本研究はフリーラジカルによって引き起こされた細胞傷害など肝臓の酸化ストレスの状態を示す主要な指標に与えるレスベラトロールの予防的影響を調べた。Wistar ラットをエタノール (35%、3g/kg i.p.) を6週間毎日投与し、レスベラトロール (5g/kg) を含む餌を摂取させた。コントロールのラットにはエタノールの代わりに生理食塩水を投与して基本となる餌を摂取させた。慢性的なエタノールの投与は肝臓マーカー酵素の値を上昇させ、肝臓に脂肪変性、壊死、繊維化、炎症を起こして肝毒性をもたらす。またエタノールは脂質過酸化の指標となるMDAの形成を促進して抗酸化系に変化をもたらす。肝臓のスーパーオキシドジスムターゼ、グルタチオンペルオキシダーゼ、カタラーゼ活性はエタノール処理によって減少したが、グルタチオンレダクターゼ活性は変化しなかった。レスベラトロールの摂取はエタノールによる肝臓の脂質過酸化、スーパーオキシドジスムターゼ、グルタチオンペルオキシダーゼ、カタラーゼ活性の減少を阻害した。以上より、レスベラトロールは慢性エタノール投与による酸化ストレスを防ぐ効果があることが示唆された。</p>	